

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 国立大学法人岡山大学		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号	
本票作成	部署名：国立大学法人岡山大学 施設企画部施設企画課				
主たる業種	分類コード	81	業種名：学校教育		
事業の概要	国立大学法人として、学部、大学院、附属病院、附属学校園及び研究所等を設置し、従業員数約5,300名、学生、生徒及び児童合わせて約14,500名が所属している。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	鹿田団地		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
	②	津島団地		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
	③	倉敷団地		倉敷市中央町二丁目20番1号	
	④	東山団地		岡山市中区東山二丁目13-80	
	⑤	牛窓団地		瀬戸内市牛窓町鹿忍130-17	
⑥	平井団地		岡山市中区平井三丁目914		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 11 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(令和 元 )年度排出量	目標年度(令和 2 年度)
	51,239 t CO <sub>2</sub>	42,632 t CO <sub>2</sub>	48,677 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元 )年度排出量
	①	鹿田団地	31,515 t CO <sub>2</sub>
	②	津島団地	9,694 t CO <sub>2</sub>
	③	倉敷団地	971 t CO <sub>2</sub>
	④	東山団地	219 t CO <sub>2</sub>
	⑤	牛窓団地	92 t CO <sub>2</sub>
⑥	平井団地	70 t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：平成 28 年度 ～ 令和 2 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 元 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	16.8 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容			原単位当たり排出量		
	基準年度	( 元 ) 年度	目標年度	基準年度	( 元 ) 年度	目標年度
	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率等
指標の状況	大学	0.555 以下	0.7733	71.8%

【削減状況の自己評価】

令和元年度は、削減目標を達成することができた。令和元年度単年度の削減要因としては、主要な電力調達先である中国電力(株)の基礎排出係数が低減したこと(0.669→0.618)が大きく、その他購入電力会社を多様化し、基礎排出係数が低減したこと(関西電力(株):0.352, (株)新出光:0.490, テプコカスタマーサービス(株):0.491)も要因として考えられる。  
 また、総エネルギー量も昨年度に比して減少(原油換算値:20,866kL→:20,766kL。0.5%減)していることから、省エネ措置を講じた成果も、温室効果ガス削減に寄与したものと考えられる。

**【推進体制】**

事業主である学長は、本学が掲げる地球温暖化対策に関する実施基本計画並びに学内環境管理規則及び関連規定に基づく施策を推進する。また、事業場内を部局（学部、大学院等）という単位に分割し、各部局単位で温室効果ガス削減のための管理体制を構築及び運用し、責任を持って計画を推進する。目標達成の計画の策定及び実施状況については、本学環境マネジメント委員会及び各部局における関連委員会において毎年度検証を行い、必要に応じて施策を見直し、目標達成に努めている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和元年度実施分) 鹿田団地	(令和元年度実施分) ・空冷ヒートポンプチラー（RI実験施設）更新
津島団地	・ビルマルチエアコンの更新（自然科学研究棟） ・動物資源部門空冷チラー更新 ・エアコンの更新（49台） ・LED照明に更新（1,256台）
(今後実施予定分) 鹿田団地	(今後実施予定分) ・冷却塔ファン発停制御変更（エネセン棟設置 入院棟ピーマック用）（8k1） ・動物資源部門モジュールチラー運用改善（12k1） ・外灯照明 LED化（16k1） ・エネルギーセンター棟 冷温水発生器温水設定温度変更（70k1）
津島団地	・給排気ファンベルトを省エネタイプに変更（3k1） ・給排気ファンモータを高効率タイプに変更（3k1）
全ての団地	・エアコンの更新 ・LED照明に更新

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- (1) 毎年度環境報告書を作成し、事業活動に伴う環境負荷の状況について外部へ公開
- (2) 構成員に対して環境負荷の状況についての周知
- (3) 建物外照明のライトダウンによる啓発活動の実施
- (4) エネルギー管理指定工場（鹿田地区、津島地区）における月別光熱水量を教職員に公開